

## 平成21年の2階西病棟を振り返って

2階西病棟看護科長 齊藤 由美子

平成21年4月から看護科長をさせていただくことになり、看護係長となり7ヶ月の今田係長と2階西のスタッフであった松本さんが係長となり、いずれも新1年生3人でのスタートとなりました。また、医師も外科の西山先生が地元に戻られ、新しい先生が来られて期待と不安の中での始まりでした。

チームは2チームで編成され、PPC方式で行っています。Aチームは、主に術後の急性期の患者さんやターミナルの患者さんを担当しています。今年は認知症や精神科の患者さんが手術を受けるケースが多く、術前術後の事故防止に努め、1日でも早く回復できるよう毎日のカンファレンスのなかで話し合いました。また、ICUから戻られた術後の患者さんのためにチーム内で色々な学習会を開き、メンバーで知識を共有しながら早期離床、術後合併症予防にも力を注いでくれました。Bチームは術前や化学療法、術後回復期の患者さんの看護を行っています。今年は退院にむけてのパンフレットの見直しを行い、以前のものより見やすくわかりやすいものに完成してくれました。今年は4月から数ヶ月おきに4名の方が異動となり、Bチームに入っていました。こられた方の指導をしながら入院の受け入れ・検査・手術・空床利用をこなしてくれ、メンバー間で「報・連・相」を忘れず頑張ってくれました。

わたくしごとですが、2階西病棟に行く廊下のお花や木のお世話をさせていただいています。草花のことはあまりわからないのですが、患者さんから「お花綺麗に咲いたね!」と声を掛けてくださったり「これ、こうするといいよ」など、教えてくれる方もいて、とても嬉しく勉強にもなっています。また、歩くことが出来なかったり、動けない患者さんにも、綺麗に咲いたお花を見てもらいたくて、持っていくととても喜んでくれました。私にはこんなことしかできないけれど、患者さんが少しでも笑顔でいられるように、お手伝いできたらと思います。

### 平成21年度病棟目標について

- 1) 医療機能評価に向けて取り組める
  - ①患者参加型看護計画を全員実施できる
  - ②倫理綱領について学習することができる
- 2) 業務改善を行い、看護の充実を図る
  - ①TQM活動を行う(コラボできる)
  - ②申し送りの改善ができる
  - ③看護必要度のチェック評価ができる
- 3) 継続看護(合同カンファレンス)
  - ①継続看護用紙・カンファレンス内容の保管について検討できる

今年は医療機能評価受審ということで、患者参加型看護計画をスタッフ全員が実施できるという目標にむかって、患者参加型看護計画推進委員会を中心となり学習し、チーム内でもお互いフォローしながら、ほぼ全員が経験することが出来ました。将来的には患者さん全員に参加型をとということで、今後も経験をつみ、患者さんや家族と共に目標に向かって行けたらと思います。

倫理綱領については、病棟教育委員が毎月病棟会議で漫画仕立てでわかりやすいものを使用し、学習会を行ってくれました。第1条から第15条に書かれている内容を学習することはできましたが、それをどのように現場で生かしていくかが今後の課題であると思います。

今年のTQMチームは、外科外来・医事課の皆さんとコラボで活動させていただきました。まもなく発表のため奮闘中です。今後は患者さんのために、他職種だけでなく先生たちともコラボしたいと強く願っています。

申し送りの改善は、病棟業務委員が活動中です。問題点は、「日勤から準夜への申し送りの時間が30分を超えてしまう」ということでした。それで「送り時間30分以内」をめざし検討・対策を講じ、現在はかなり短縮されました。将来的には「申し送りの廃止」ができれば・・・と考えているので、継続して活動していけたらと思います。

外来との合同カンファレンスですが、今年度は、

継続用紙やカンファレンス内容の保管について検討しました。しかし最近では、諸事情によりカンファレンスが出来ていないこともあります。医療機能評価で、医師や他職種を交えてのカンファレンスが必要との指摘を受けましたので、実現にむけて皆さんの手をかりて考えて行きたいと思いません。

#### 最後に

この1年、目の前のことをこなすだけで一杯一杯でした。どれだけ周りの人に迷惑をかけ、助け

てもらったことでしょう。先生方や、頼りになる薬剤師さん、頼れる2人の係長、いつも頑張ってくれているスタッフ、いつも病棟のために走ってくれているヘルパーさん、病棟内をきれいにしてくれている美装さん、他2階西病棟に関わってくれた全ての皆さんのおかげで、なんとかここまで来る事ができました。深く感謝しています。今後も、患者さんを自分の家族とおもい、「この病院に入院してよかった」と、満足していただける看護を提供できるよう努力していきたいと思いません。